

平成 20 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録

日時：平成 20 年 10 月 4 日（金） 15:00～18:00

場所：社会基盤工学専攻大会議室

出席者：竹内会長，杉本(1 期)，高瀬(2 期)，大澤(4 期)，横田(6 期)，藤田(7 期・東京支部)，吉田(10 期)，伊藤(11 期)，水野(12 期)，田中(13 期)，向井 (15 期)，大東(16 期)，織田(17 期)，伊東 (20 期)，若杉(22 期)，中村(23 期)，中野(24 期)，野田(25 期・幹事長)，鈴木(26 期)，石川(27 期)，荻野(30 期)，井上(31 期・しゃち)，葛西(32 期・広報)，香川(33 期)，三輪(34 期・会計)，中井(36 期・会計)，判治(37 期・しゃち)，上田(39 期・名簿)，竹下(40 期)，二井内(41 期)，板橋(42 期)，井上(43 期)，村井(44 期)，北根 (教員・しゃち)

■役員会に先立ち，新会長挨拶および幹事自己紹介があった。

報 告

1. 第 19 回総会報告 (野田)
 - ・総会，講演会・懇親会 (100 名の参加) および会計の報告があった。
 - ・資料 2-1 の「4. 鏡ヶ池会第 20 回総会・特別講演会・懇親会会計報告」中の，郵送費 172,800 円および雑費 (タクシー代) 3,680 円の合計 176,480 円は前会計年度で処理した。また，同資料の支出項目には両替代手数料 315 円が含まれていなかった。したがって，今会計年度で処理する総会，講演会・懇親会の収支不足分は 170,330 円(資料 2-2「支出-総会および講演会補助」項目参照)となる。
2. 平成 20 年度上半期会計報告 (中井)
 - ・上半期の支出状況についての説明があった。
 - ・土木 50 周年記念事業に 200 万円支出を行っている。
 - ・本会計年度は黒字が見込まれるものの，本会計年度の会費収入見込みが，本来前会計年度以前に見込まれた郵便振替による会費収入を含んだものになると考えられるため，引き続き注意が必要である。
3. 会費納入状況について (中井)
 - ・各期の納入状況一覧が示され，状況について説明があった。
 - ・若い期の低納入率は，留学生と空間コースの合流に伴う学生の増加が原因であると考えられる。
 - ・卒業時に自動引落とし用書類を書いてもらうのが，納入率向上に効果的である。
 - ・死去の方の引き落としおよび会費納入の案内は，自動的に停止することを確認した。
 - ・留学生の終身会員は，未納者としてカウントしている。次回の役員からは，未納者と分けてカウントすることとする。
 - ・会費納入については，各期幹事は引き続き会員へのお願いをすることを確認した。

4. 後援基金報告 (中村)
- ・上半期の支出状況について報告があった。
 - ・今年度、現時点では博士論文印刷補助 0 件。
 - ・留学生の終身会員は 15,000 円であるが、これに比べ、補助額が少なく限定的であるため、留学生の利用が減少していると考えられる。
 - ・教室会議等を通じて、学生の積極的利用を促進するために、ルールを周知してゆくが、新たな後援基金のあり方を検討する。
5. 教室近況報告 (森川)
- ・10月1日着任の教官紹介(林 希一郎教授)がなされた。
6. 支部活動報告
- 1)東京支部 (藤田)
- ・幹事会の報告、及び活動計画が報告された。30期以降の幹事の出席を促したい。
 - ・東京支部総会は、今年度からこれまでの趣向を変えて実施する(11月21日(金)13:30~20:00)。参加資格は鏡ヶ池会会員全員。
 - ・東京支部の行事については、東京支部の会員に限定せず、鏡ヶ池会全員に情報を発ししてゆくことが説明された。
 - ・土木創立 50 周年の準備も行ってゆくことも説明された。
- 2)関西支部
- ・報告を前期分とあわせて次回していただく。
7. 学生会活動報告 (井上(佳))
- ・20年度前期の活動報告として、名大祭土木展の報告があった。これについては、土木学会誌の CE リポートへの投稿を行うのがよいとの意見があった。
 - ・20年度後期の活動計画として、研究室対抗ソフトボール大会、就職試験対策勉強会を実施して行くことが説明された。学生会行事に 2,3 年生の参加・協力も呼びかける方針であることも説明された。
 - ・20年度の前期分の会計報告と後期分の支出見込みについても説明がなされた。
8. その他
- ・第4回ホームカミングデー(10月18日(土)、於:名古屋大学東山キャンパス)および名大創立70周年(平成21年5月1日)記念式典について説明された。(伊藤)

議 事

1. (総会以降の) 幹事・役員の変更 (野田)
- ・各期幹事の変更が承認された。4期:白木盛夫→大澤耕一, 5期:荒川孝→遠山正美(敬称略)。

- ・しゃち担当：加知範康→山田英司（敬称略）が承認された
2. 平成 20 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録（案）（野田）
 - ・議事録案を承認した。
 3. 名簿：「会員名簿 No.44」編集経過報告（上田）
編集経過報告と今後のスケジュールが説明された。
 - ・各期幹事は初校修正の提出を 10 月 17 日(金)までに行う。それ以降の修正は来年の反映する。
 - ・経費削減・編集作業効率化のため、メールによる原稿提出など電子化へのご協力をお願いしたい。
 - ・名簿データ修正依頼後の会員からのメールによる修正依頼が数件あったが、必ず、各期でまとめて提出していただきたい。
 - ・一部、幹事からの返信メールが届かないケースがあったので、適宜修正してゆく。
 4. しゃち：「しゃち No.49」編集経過報告・しゃち広告依頼（井上）
しゃちの編集方針が説明された。
 - ・「災害被害調査」を今回の特集記事とし、旧会長退任挨拶や女子開催の記事を新たに加えていることが説明された。
 - ・原稿締切は 10 月 31 日となっているので、それまでに受賞・訃報の情報あるいはその他の情報があれば、担当まで連絡することとした。
 - ・広告を集めることについて、各期幹事へ引き続きの協力依頼がされた。また、ここ数年の広告掲載状況について、依頼が毎年約 80 社で、採用が約 8 社（回答は約 20 社）であることが報告された。「年末・年始の挨拶」のような要素を加えてもいいのではないかとの意見も出された。
 5. 広報：ウェブサーバの現況とドメイン管理（葛西）
 - ・20 年当初に導入した新規サーバーの安定稼働、メールングリストサーバの運用再開、メールサーバの SPAM メール駆除対策の実施現況について報告された。鏡ヶ池会のメールサーバーでアカウントが欲しいという要請が強ければ、ルールを作成を検討する旨説明された。また、ウェブページで見るに値する企画があれば、ご連絡していただきたい。
 - ・ドメイン管理では、名大社会基盤工学専攻に IP アドレス借用許可を得ている旨説明された。
 6. 会計：会費徴収システム等について（資料 2-13）（中井）
 - ・平成 20 年度から、郵便為替の請求用紙を、未納分と今会計年度分の 2 つに分けて毎年発送することを承認した。この際、これまでと同様、滞納の記録も残してゆくことを確認した。

- ・正会員の卒業年次に基づいて徴収金額が異なるこれまでの会費徴収システムを一元化するなどの「会費システムの簡素化」について自由討議を行った。賛否両論とともに「業務の外注化」などの意見が出された。意見を参考にしながら、「全会員に平等で支払い易いシステムにする」および「事務的な手間の低減」を基本方針にして、次回の役員会で会計課から提案することとなった。
- ・「シルバー会員の導入」についても自由討議を行い、あえて全員を一律にする必要はないのではないかとの意見が出され、上述の「会費システムの簡素化」とともに会計課から提案することとなった。

7. その他

- ・学生の同窓会への帰属意識の増加を高めるために、大学院の学生と教員との懇親会を企画していることが報告された。そのために、10万円程度を上限とする補助を行うことを承認した。
- ・名簿をはじめとするHPなどの継続的な維持運営管理の重要性から、システム構築の貢献者への謝礼を検討する旨が幹事長から提案されたが、会員はこれまで「ボランティア」として行ってきたこと、一方で外注の場合は多額の構築費用が発生すること等があるため、対応を会長・幹事長に一任することとした。
- ・定年会員による意見開陳と談論の場を提供するオピニオン誌「銀鯨」の発行（会長の挨拶、鏡ヶ池会HP参照）、会長制の内容の見直しなど、成熟期を迎えた鏡ヶ池会のあり方を議論したい旨の発言があった。（会長）

□懇親会

本山「ロoppa 本山店」(Tel : 753-0530) pm 6:20～ 19名の参加があった。